

令和2年度事業計画(案)
予算計画(案)

運営に関する事項

○理事（15名）・監事（2名）

代表理事	羽賀 友信	長岡市国際交流センター
副代表理事	西脇 美智子	長岡市茶道文化協会
副代表理事	河村 正美	公立大学法人長岡造形大学
副代表理事	渡辺 美子	米百俵まつり実行委員会
理事	稲垣 文彦	（公社）中越防災安全推進機構 業務執行理事
理事	阿部 巧	（公社）中越防災安全推進機構ムラビト・デザインセンター
理事	樺沢 敦	株式会社FARM8
理事	桑原 眞二	NPO法人ながおか生活情報交流ねっと
理事	佐竹 直子	チーム中越、蔵王の森こども園 園長
理事	高木 仁	NPO法人住民安全ネットワークジャパン
理事	本間 和也	（社福）長岡市社会福祉協議会
理事	水澤 元博	水澤電機(株)
理事	渡辺 仁	NPO法人キズナの森
理事	山岸 豊後	アクシアルリテイリング(株)・NPO法人夢ハウスけやきの家
理事	清野 静香	暮らしと手とテの研究所
監事	土田 勝也	NPO法人ネットワーク・フェニックス
監事	高野 真規	たかの社会保険労務士事務所

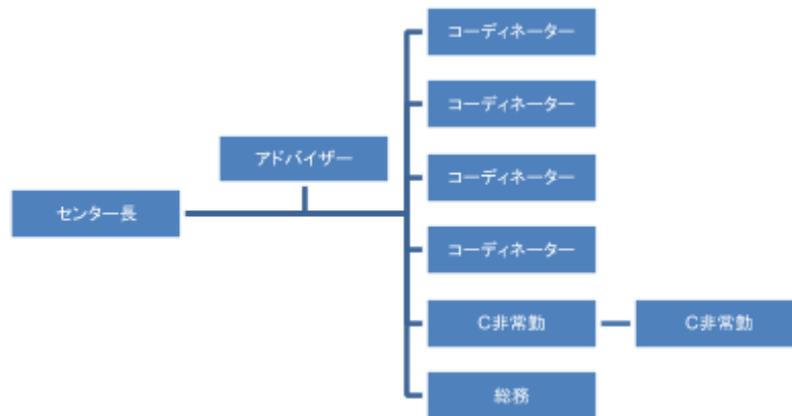
令和2年度 事業計画

■事業方針

平成24年のセンター開設から8年間で、センターに情報登録を希望する市民活動団体は360団体を数え、これまで関わった市民活動に取り組む団体や事業者の数は1184団体にも登ります。年間の相談件数もコンスタントに800件を推移しており、長岡市の人・団体のネットワークは大きく広がっています。

私たちは、このネットワークこそが長岡市が育んできた、他者への信頼、つきあいや交流、社会参加などを要素とする「ソーシャル・キャピタル＝社会関係資本」だと考えます。ソーシャル・キャピタルの豊かさは、治安、経済、健康、幸福感などにプラスに働き、社会の効率性が高まるとされています。少子高齢化、人口減などにより行政の財政難が叫ばれる現在こそ、地域生活を支えるソーシャル・キャピタルのさらなる拡大・活性化が必要不可欠です。協働センターはそのネットワークを成す拠点となるべく事業に取り組みます。

■運営体制



- 市と当法人との協議の上策定した「市民協働センター運営体制モデル」とは異なるが、センター長1名、コーディネーター6名（常勤4名、非常勤2名）、総務1名に加え、臨時アドバイザー1名を設置。
- 各コーディネーターが担当地域を持つ「地域担当制度」を継続する。

1. 市民協働センター運営事業（委託事業）	
概要	市民活動団体や市民の市民活動に関する相談に対応。また、団体や市民が円滑に活動できるよう、知識習得の場や専門家サポートの提供、事務局支援を行う。
(1) 活動支援・事務局支援業務	
概要	センターの施設運営および相談業務を行う。また、組織講座開催・出前相談などで市民活動団体が活動するための知識取得や専門家のサポートを提供する。また、相談内容のデータベース化をし、蓄積されたノウハウを情報発信できるよう整備していく。
①市民協働センター相談窓口の運営	
予定	平日午前9時～午後6時（※土日祝日または時間外の相談については事前予約） コーディネーターを最低一人は常駐。支所地域などでの出張相談窓口の開設もニーズがあれば実施する。長岡市民活動推進事業補助金の受付・相談窓口として、団体に寄り添い団体の将来を見据えた補助金の使い方を相談するとともに、補助金活用後の自己資金比率の増加など自立に向けた計画づくりの支援ができるよう努める。また、協働係が新たに開催する補助金説明会&活用事例発表へ協力する。
②相談内容のデータベース化、ノウハウ蓄積	
予定	相談内容の記録。よくある相談に関して、情報誌らこっでの「虎の巻」にて活動ノウハウを紹介。ホームページにも掲載し、活動ノウハウを広く発信していく。また、組織運営講座と連動した、市民活動のイロハとなるような情報を整理し、相談対応で活用していく。
③組織運営講座の開催	
予定	コーディネーターによる組織運営基礎講座を開催。 令和元年度に実施した、「企画づくり」「組織力アップ」「イベント集客」「活動PR」「会計」5つのテーマの内容を精査し充実させる。新たに「チラシづくり」「プレスリリース」の2つを加え、令和2年度は7つのテーマを実施する。 また、講座だけでなく「協働センターがどんな相談ができるのか」をまとめたチラシを作成し、周知を徹底していく。
④団体個別相談の実施	
予定	コーディネーターでは専門性が不足する、組織運営上の課題解決や、発展のために高度な支援を要する団体に向は、専門家を派遣する団体出前相談を実施する（予算を5回→4回分に削減）。
⑤情報・図書コーナー、備品の管理・活用の活用	
予定	引き続き、協働ルーム、展示スペース、情報・図書コーナー、印刷機、紙折り機、丁号機、穴あけパンチ、大型ホチキス、裁断機、ラミネーター、団体専用ロッカー、団体専用コンテナ、レターケースが十分に活用されるよう、活動団体に案内を行う。展示スペースは予約がない際は、協働センター所有のパネル展示を行う。 図書コーナーの整備と運用ルールの整備を行う。
(2) 情報の受発信業務	
概要	市民活動団体の活動PRにあたって、情報誌やホームページ・SNS等各種媒体を用いて情報の発信を行うほか、相手からの情報をうけられるようにし、双方向での情報交換を行う。
①市民活動情報誌「らこって」の毎月発行	
予定	4～翌3月まで12回、A4・4ページの情報誌3,000部を発行。内容についてはH30年度のコーナー（人物紹介2件、団体紹介3件、事業者紹介1件、組織運営ノウハウ紹介1件、ほか）を軸に、見やすいレイアウトとなるよう工夫する。また、表紙も人となり分かりやすいデザインにリニューアルをする。3月号については、補助金活用団体の紹介を入れるかについては予算消化の様子を見て、要相談。 誌面は毎月郵送にて希望者・団体等に発送。今年度より、市内病院10件への発送を開始する。その際に、希望する団体のチラシ等を同封する。
②コミュニティFMのスポンサー番組「つながるラジオ」の放送と取材コンテンツの活用	
予定	毎週月曜日17時～、月4回、FMながおかにて「つながるラジオ」を放送。市民活動団体3団体と、事業者の社会貢献活動1組を紹介。取材内容を情報誌「らこって」、WEBサイト「コライト」に掲載する。リスナーからの投稿企画「つなサンド」を長岡みんなのSDGsと題し、身近にできるSDGsを投稿してもらったり、SDGsの17の目標についての説明や長岡での取り組みなどを紹介していく

	コーナーとしてリニューアルする。投稿についてはラジオ内に限らず、WEBやセンター展示などと連動できるよう企画する。
③協働センターホームページ「コライト」の運営	
予定	団体情報、イベント情報、補助金紹介、ボランティア等募集告知情報の掲載。情報誌らこってに掲載した内容を、WEB記事でも紹介。登録団体の情報や、マッチングリスト、事業者のCSRに関する取組みなどを検索・閲覧しやすくなるよう適宜改修を行う。また、新たにFAQページを設け、らこって虎の巻や講座の内容など、市民活動に役立つ情報をまとめる。
④ソーシャルメディア管理・運営（Facebookページ、twitter、Instagramアカウントの運用）	
予定	利用層に合わせた情報発信ができるようFacebook、Twitter、Instagramの活用を継続して行う。また、補助金事業の優先告知など、掲載情報のルールづくりなどに改めて取り組む。
⑤協働を啓発する「パネル展」の実施	
予定	平成31年度取材分のインタビューパネルや平成31年・令和2年3月号の「らこって」のパネル、「長岡市の協働が目指すビジョン」のパネルを追加制作。合せて、スタッフ紹介パネルと今までのインタビュー掲載者を検索できるサイトを内製する。また、新型コロナウイルス感染症の流行状況を考慮した上で、コミセンまつりや商業施設での展示を行う。
(3) 協働促進業務	
概要	継続的に長岡市内の市民活動団体や行政、企業、個人とのネットワークを構築しながら、協働しやすい環境づくりを心がける。 また、市民活動に関心を持ってもらうきっかけとして、社会情勢やトレンドを意識した一般向けに講座を開催する。
①市民活動団体、事業者等の活動状況の把握	
予定	引き続き、長岡市内の市民活動団体の登録管理を中心に、市内外で社会貢献活動する団体、人、事業者の情報を収集しデータベース化していく。市内事業者の社会貢献・地域活動への取組状況、プロボノとして市民活動に協力できる専門家についての情報収集を行う。
②協働マッチングリスト等の運用	
予定	引き続き、登録団体のうち、他組織に協力・貢献できる事項について公開を望む団体を取りまとめたリストを作成・公開する。紙面、ホームページともに見やすく使いやすくなるようデザインを見直す。社会貢献・地域活動に取り組む事業者の情報についてもホームページ等で一覧を閲覧できるようなページを設ける。
③一般向け講演会の開催	
予定	多くの市民に市民活動に関心を持ってもらうため、シニア向け講演会と、広く一般を対象とした講演会を開催する。市民と団体のマッチングの場、団体同士のマッチングの場となるよう工夫する。また、講演会の企画・開催にあたって、中間支援機関（社会福祉協議会やシルバー人材センター、ながおか若者・しごと・機構など）と連携し、相互にメリットのある機会とする。
④市民活動フェスタ実行委員会事務局の運営	
予定	実行委員会の意見を尊重し、参加団体にとって関わりシロのあるイベントとなるよう運営に参加する。【日時】9月12日（土）10:00～15:00（予定） 【場所】アオーレ長岡
⑤越後長岡まちなちの駅ネットワーク事務局の運営	
予定	参加駅や役員の意見を尊重し、ネットワークの運営の参加及び事務局支援を行う。 ・まちなちの駅を訪れていただくきっかけとする、まちなちの駅シールラリーの旅2020を7月22日（水）～9月8日（火）まで実施予定。（開催の可否アンケート実施） ・まちなちの駅交流連携事業の実施予定。 ・総会（4月）、幹事会（年2回）を実施予定。 ※新型コロナウイルス感染症流行下での事業変更がある。今後の事業や取組について

2. 情報コミュニケーション事業（自主事業）	
概要	長岡市の市民活動に関する情報や市民活動を振興する情報を発信する。情報発信事業は協働センターにおいても行っているため、法人事業では協働センターによる情報発信の補足を意識して取り組む。
予定	<p>○実施内容</p> <p>①自社発行メディアの運用</p> <p>◆メールマガジン</p> <p>1.目的 定期的にメールマガジン登録をする個人・団体へ、直接的かつ集約的に市民活動に関する情報を配信することで、市民活動の活発化に寄与する。</p> <p>2.予算 26,400円（2,000円×12カ月×1.1）システム利用費</p> <p>3.方針 ・内容 協働センターwebサイト「コライト」の更新情報を中心に、そのほか当法人に関する情報（イベント告知、入会PR等）など。 ・毎月2回配信 配信日は毎月1日、15日。掲載情報は配信日の3日前締め。 ・年度内目標配信数 620件 ※2019年4月末：524、2020年2月末：573(+49)</p> <p>◆市民活動情報紙</p> <p>1.目的 当法人ならびに協働センターとしてwebやメールを介する市民活動の情報発信には充分に取り組んでいるものの、それらの手段で情報受信のできない市民が一定数いる。その層に対して市民活動に関する情報を、紙媒体を用いて発信することで、広範な対象に向けての市民活動活発化に寄与する。市民活動情報紙を発行するとともに、それを活用することで協働センターの情報発信を補う。</p> <p>2.予算 なし</p> <p>3.方針 ・内容 協働センターに寄せられた市民活動イベントやそのほか市民活動に関する情報。 ・毎月1回発行 ・市民への配布手段は、らこって配送先（登録団体、NPO法人、まちの駅、観光協会その他長岡市関連施設など）への送付と協働センター情報コーナーへの設置による。 ・毎月の市民活動情報紙を長岡市の記者クラブへポストイングし、各種メディアへ市民活動の情報を提供する（プレスリリース）。 ・情報発信媒体毎の名称の統一感を増すために、市民活動情報紙の名称を「コライト かわら版」とする。 ・紙面上でメールマガジンの案内もし、メールマガジンの登録を促す。</p> <p>②SNS・ホームページ運用</p> <p>1.目的 協働センターが行う情報発信とは異なるアプローチの情報発信を、当法人のSNS・ホームページを用いて行うことで、協働センターの情報発信を補い多種多様な市民活動情報を市民に届ける。それらの運用を通して団体会員の増加、及び当法人の財政状況の盤石化を図る。</p> <p>2.予算</p> <p>＜SNS運用＞ なし</p> <p>＜ホームページ運用＞ 70,000円</p> <p>【サーバー管理】 ドメイン管理一式 5,000円（ドメイン料金含む） サーバーレンタル 6,480円 サーバー管理（年間） 23,520円</p> <p>【ホームページ】</p>

CMSシステム管理（年間） 35,000円（バージョンアップ、セキュリティなど）

3. 方針

- ・ 団体正会員、賛助会員の会員特典として、当該団体の社会貢献活動について当法人のSNS、ホームページを活用した情報発信サービスを行う。
- ・ 情報発信サービスの有用性を見込み団体会員へPRし、情報発信サービスの存在を団体会員数増加につなげる。
- ・ SNS運用について、事務局が主体となって運用する。
- ・ メディア環境の情勢を鑑みながら、SNSの利活用をより一層進める。
- ・ ホームページ運用について、桑原理事と事務局が運用する。事務局でも更新できるもの（夢の種プロジェクトや情報発信サービスの更新など）については事務局が主体となる。

③支援者の情報公開

1.目的

法人としての説明責任の履行（アカウンタビリティ）の観点、及び支援の謝意を伝える目的で、当法人を支援して頂いている方々の情報を公開する。

2.予算

なし

3. 方針

- ・ 当法人が主催するイベントの会場、夢の種プロジェクトの案内や授賞式、年間報告資料、web上などで情報を公開する。
- ・ 情報公開の対象者は、個人正会員、個人賛助会員、団体正会員、団体賛助会員のうち、情報公開を希望する者。
- ・ 公開する情報は、個人名もしくは団体名とする。

④情報のリーチ拡大施策

1.目的

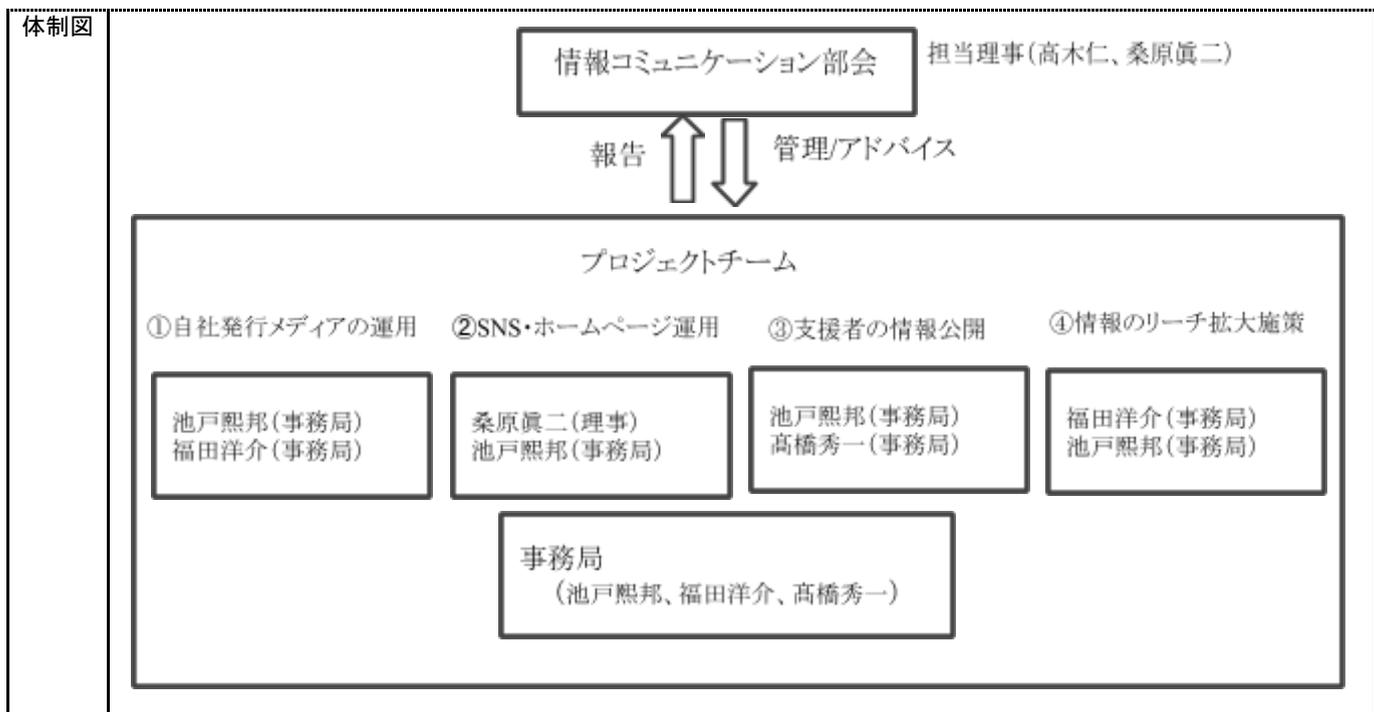
情報ネットワークの拡大を図る。

2.予算

なし

3.実行指針

- ・ コライトの閲覧者からメルマガの登録へとつなげる。例えば、メルマガの内容をコライトにも転載するなど。
- ・ スマホから容易にメルマガ登録できるよう、イベント、講座の際に QR コードを活用したり、メルマガ登録による割引制度を検討する。
- ・ 名刺裏面に、当法人の SNS アカウント、メルマガ登録画面へリンクする QR コードを載せる。



3. 人材ネットワーク事業（自主事業）																			
概要	<p>市民活動のきっかけを作ることを目的とし、活動の周知と活動に関わる人の裾野を広げることができる事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市民交流会「のもーれ長岡」の実施 ●長岡の人材資源と情報を可視化した「協働マッチングリスト」の内容の充実化 																		
予定	<p>○実施内容</p> <p>①のもーれ長岡</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.目的 学び、語り、飲み、ジャンルを超えてつながる異業種異分野多世代交流の出来る交流会を実施し、仲間づくりの場を創出する。 2.予算（変更の可能性あり） 収入：360,000円（180名×2,000円） 支出：338,000円（180名×1,500円＋講師謝金10,000円×5回＋18,000円） 3.実施方針 <ul style="list-style-type: none"> ● 基本的には、奇数月の第4金曜日に実施。年間6回開催する。 ● 月別に事務局内の担当を付け、企画から運営を行う。また、必要に応じて外部からのアドバイスや協力を求め多様な視点でニュース性の高いのも～れが実施できるように努める。 ● 【新規】今までにないテーマで「のも～れ！」を開催すること、交流を生み出す人材を増やすことを目的として、当法人と当法人以外の主催者が共催で「のも～れ！」を開催する際のガイドラインを別紙のように定める。 4.スケジュール <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <tr><td style="width: 10%;">第55回</td><td style="width: 10%;">5月22日(金)</td><td style="width: 80%;">19:00～21:00（目標30名）</td></tr> <tr><td>第56回</td><td>7月17日(金)</td><td>19:00～21:00（目標30名）</td></tr> <tr><td>第57回</td><td>9月25日(金)</td><td>19:00～21:00（目標30名）</td></tr> <tr><td>第58回</td><td>11月27日(金)</td><td>19:00～21:00（目標30名）</td></tr> <tr><td>第59回</td><td>1月22日(金)</td><td>19:00～21:00（目標30名）</td></tr> <tr><td>第60回</td><td>3月19日(金)</td><td>19:00～21:00（目標30名）</td></tr> </table> 5.新型コロナウイルス感染症流行下での事業方針 新型コロナウイルス感染症の流行が収束するまで、通常の「のも～れ長岡」は実施しない。 人を一か所に集めずにつながりをつくることを目的とし、オンラインでの交流会実施や講演の 	第55回	5月22日(金)	19:00～21:00（目標30名）	第56回	7月17日(金)	19:00～21:00（目標30名）	第57回	9月25日(金)	19:00～21:00（目標30名）	第58回	11月27日(金)	19:00～21:00（目標30名）	第59回	1月22日(金)	19:00～21:00（目標30名）	第60回	3月19日(金)	19:00～21:00（目標30名）
第55回	5月22日(金)	19:00～21:00（目標30名）																	
第56回	7月17日(金)	19:00～21:00（目標30名）																	
第57回	9月25日(金)	19:00～21:00（目標30名）																	
第58回	11月27日(金)	19:00～21:00（目標30名）																	
第59回	1月22日(金)	19:00～21:00（目標30名）																	
第60回	3月19日(金)	19:00～21:00（目標30名）																	

配信などを行う。

②協働マッチングリストの内容の充実化

1.目的

8年間のながおか市民協働センター運営や理事・会員のネットワークを通して得た長岡の人材資源と情報を見える化し、団体間でも活用していけるようにすることで、より活発な市民活動の発展につなげる。

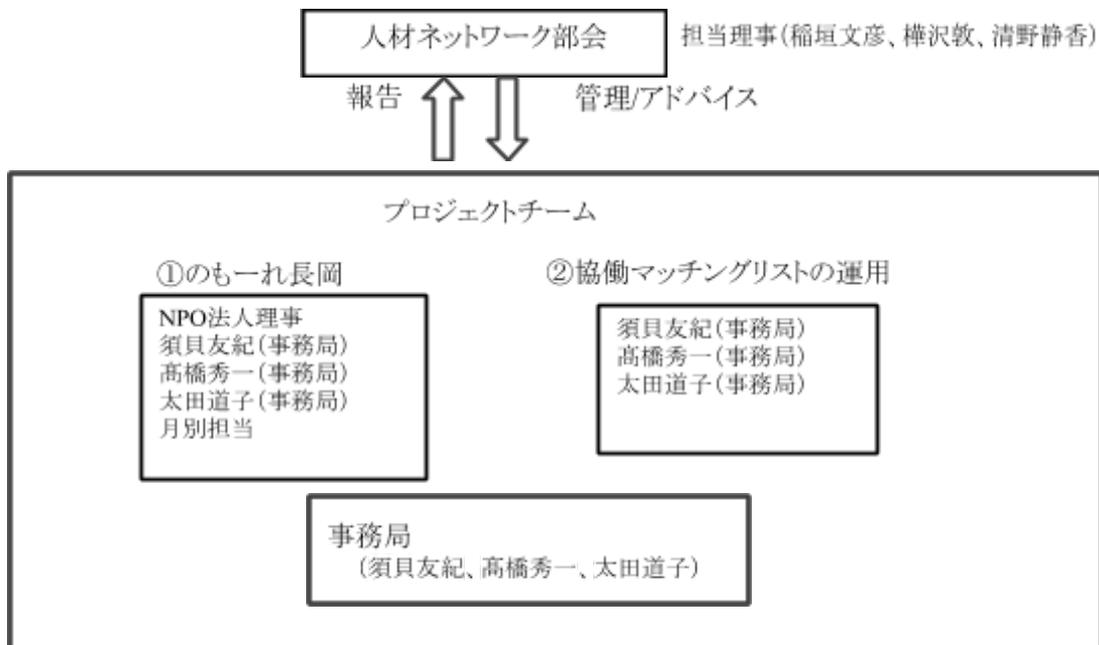
2.予算

0円（協働センター事業のため）

3.実施方針

- 理事会後の茶話会等で、掲載対象となる団体の情報を収集する。
- のもーれの会場に、マッチングリストと掲載対象となる団体の情報を書いてもらうヒアリングシートを設置する。
- 会員にマッチングリストを送付する際に、掲載対象となる団体の情報を書いてもらうヒアリングシートを同封する。

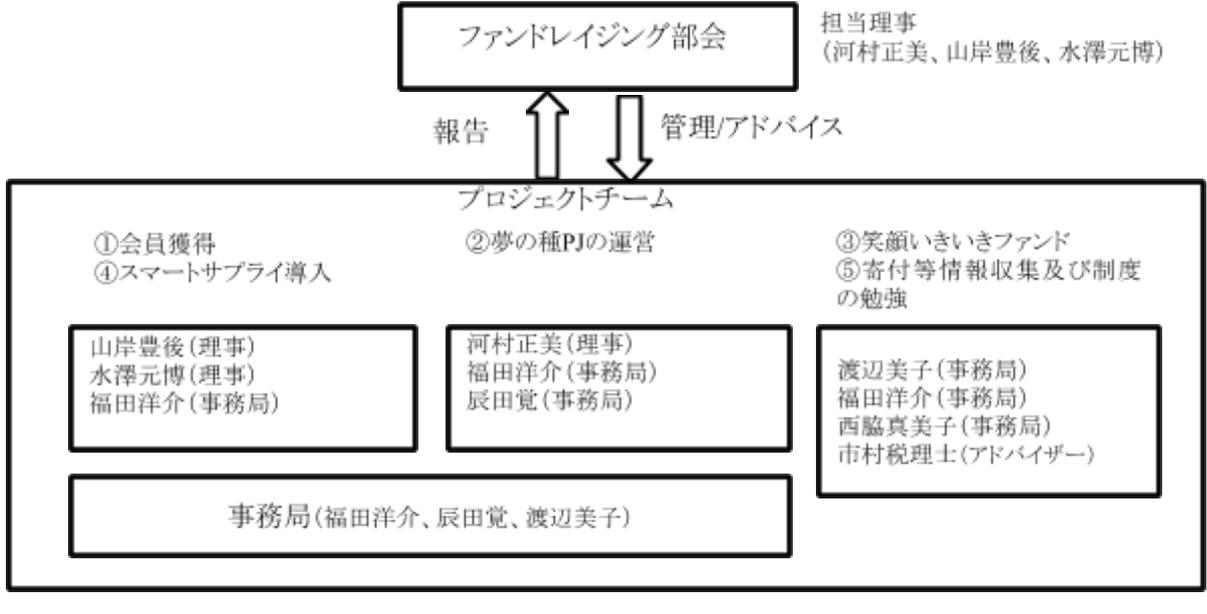
体制図



4. ファンドレイジング事業（自主事業）	
概要	<p>【ファンドレイジング（資金調達）について】 会員獲得や寄付を募りやすい仕組みづくりを行う。また、市民活動団体を奨励する「夢の種プロジェクト」の企画・運営を行い、市民の挑戦したい気持ちを後押しできるようにする。その他、研修等を利用して基金や財団についての勉強を行う。</p>
予定	<p>○実施内容</p> <p>①会員獲得</p> <p>1.目的 当NPOの活動に理解・共感を持った団体・市民を増やすこと。</p> <p>2.予算 15,000円（宣伝チラシA4 4Pフルカラー1,000部）※部会予算ではなく消耗品費として計上</p> <p>3.方針 ・昨年度作成した宣伝チラシを活用した加入呼びかけ ・イベント等での加入呼びかけ</p> <p>②夢の種プロジェクトの運用企画</p> <p>1.目的 長岡市をさらに住みよく活力ある地域にするため、市民から楽しいアイデアやチャレンジを大募集し、柔軟で斬新なアイデアを実現していくコンテストを開催する。 長岡市に在住、在学、在勤する個人又は団体対象で、長岡市の地域活性化に向けた実現可能なアイデアに活動支援金を贈呈する。</p> <p>2.予算 夢の種プロジェクトチャリティーコーヒーの収益金</p> <p>3.方針 ・夢の種プロジェクトチャリティーコーヒーの運営補助業務 ・企画、運営および幅広い広報を行うことで活発なアイデアの創出を促す ・会員による投票やプレゼン審査会などを取り入れた審査の継続を検討</p> <p>③笑顔いきいきファンド</p> <p>1.目的 寄付者の要請に基づき、市民ファンドを行う。 ※令和2年度は寄付者の意向により子ども食堂、居場所づくりの取り組みを寄付対象とする</p> <p>2.残金 64万円 （支援金の2割を事務手数料としていただく）</p> <p>3.方針 相談団体や夢の種申請団体などから相応しい団体を選び、応募を促す</p> <p>④スマートサプライ導入</p> <p>1.目的 WEBサービスを活用することで市民・団体間の寄付行為の促進を図る</p> <p>2.予算 0円</p> <p>3.方針 運用規約の制定、試験運用を行う※カード手数料の関係上、物品の寄付に限定して利用する</p> <p>⑤寄付等情報収集及び制度の勉強</p> <p>1.目的 寄付、遺贈、コミュニティ財団等の情報収集を行い、資金調達の効果的な方法についての勉強を行う。</p> <p>2.予算 0円</p> <p>3.方針 ・ファンドレイジング講座等への参加</p>

- ・ 専門家とのネットワークづくり
- ・ 理事、事務局の情報や知識の可視化

体制図



5. コーディネート・研修事業（自主事業）	
概要	<p>令和2年度より、コーディネート・研修部会とし、研修事業の整備を行う。</p> <p>【コーディネート事業】他団体からの相談や依頼のもと、プロジェクトチームを組み事業協力や派遣など随時実施。協働を更に推進するため、きょうどう通信を利用して、身近な協働の発信とコーディネートを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師、ファシリテーターの派遣・ワークショップや講座の企画・運営など ・市民活動フェスタへの出店 ・きょうどう通信の執筆管理（理事より年間1記事執筆してもらう） <p>【研修事業】講座や講演などできることを整理し、料金設定とともに情報発信を行い、委託外の事業及び必要に応じて自主企画の講座を行っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画のメニュー化、料金設定、情報発信 ・有料の自主企画講座（無料講座は委託事業で行い、必要に応じて自主事業を行う）
予定	<p>○実施内容</p> <p>①各種団体との事業協力・協働事業</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 目的 NPO法人市民協働ネットワーク長岡の持つスキルが各種団体の支援となることで、市民活動や協働を広げる。 2. 予算 収入 100,000円 支出 80,000円 3. 方針 ・依頼や相談があれば、随時事務局内で検討・実施をする。 理事の協力を仰ぐ内容については、個別に相談をして検討・実施をする。 <p>《協力予定事業》 ながおか市民活動フェスタ 実施日：令和2年9月12日（土） 実施内容：実行委員会への参加、参加団体として出店 委託事業になっているため、NPO法人としてはブースの出店を予定（無償） ※新型コロナウイルス感染拡大に伴い従来通りの開催ができない予定。</p> <p>《依頼見込》 ・長岡ワークライフセミナー（連合中越） ・職業体験受入（若者サポートステーション）</p> <p>②きょうどう通信の執筆管理</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 目的 協働を更に推進するため、きょうどう通信を利用して、身近な協働の発信とコーディネートを行う。 2. 予算 収入 0円 支出 0円 3. 方針 市民協働ネットワーク理事より年間1記事執筆してもらう。執筆記事は協働ネットワークのメールマガジン及びFacebookにて情報発信し身近な協働を促す。コーディネート事業が進むよう情報発信を強化する。発信は情報部会が行い、執筆管理はコーディネート部会が行う。 <p>③情報発信及び研修実施【研修事業】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 目的 NPOとしての実績も出てきており、今後は法人としてできることを、しっかり見える化し、自主事業の獲得に力を入れるため、法人HPなどで情報発信を行う。 協働センター事業では賄えないニーズに応じて、自主の研修会や講座を企画運営する。 2. 予算 収入 0円 支出 0円 3. 方針 ・情報発信を強化し、法人事業実績のPRをWEB上で行う。 ・法人ホームページに業務のメニュー化（センター事業と連携し、できることを示す） ・今年度は、ニーズを調査し必要に応じて行う。チラシ講座やSDGs講座などニーズから

センター事業では賄えない講座を有料で行う。

体制図

